

## 「アルティメット」 ～分析シートからつながる～

1. 学年・組      5年東組    33名

### 2. 目指す子供の姿

他者との関わり合いを大切にしながら自分の考えを伝え、周りの考えを受けとめることを通してお互いの考えを比較し、より良い問題解決方法を導き出していける子供

### 3. 本時における「子供とつくる学び」

体育科では、「する」「みる」「支える」「知る」の観点を子供に意識させながら、スポーツとよりよく関わるための工夫を考えるように促す必要がある。このようなことが運動・スポーツへの多様な関わり方につながっていくと考えている。

子供は、運動・スポーツを「する」に関しては主体的に取り組むことができている。しかし、「みる」「支える」「知る」という視点から運動・スポーツに関わることが少ない。「する」楽しさだけでなく、仲間の動きをみながら技能習得に向けた思考を展開していくことがさらに必要であると感じる。そこで、『アルティメット』の価値や特性を理解しながら自分の動きやチームの動きを分析していく。その中で、技能を高めるためのイメージを持つことができるようにする。また、仲間と協働していく中で、新しい問題点の発見、課題解決に向けた意見の交流・実践を養うことも必要である。冷静に物事を分析していく中で、仲間への伝え方や動き方の工夫を自らで考えることのできる子供を育成していきたいと考えている。

### 4. 「子供とつくる学び」を実現するための手立て

子供とつくる学びの手立てとして考えていることは2点ある。

1点目は、スポーツとよりよく関わるために子供が自ら考えて「選択」していく時間をつくることだ。本単元では、多様な作戦を立ててプレーに生かしていく。授業前半では、作戦をいくつか提示していく中で、チームに合った作戦を自分なりに考え、チームで交流、選択し、プレーを行うことができるようにする。授業を重ねていく中で子供たちがチームの特性を意識し、さらに練り上げた作戦を活用しながら取り組むことができるようにする。また、チームの課題をもとに自分たちに合った準備運動を選んで行うことができるようにする。コーディネーション運動を準備運動に取り入れ、いくつか用意しておく。その中から子供たちが選ぶことで、前回の授業で出た課題とつなげて活動を行うことができるようにする。

2点目は、分析シートを活用することである。この分析シートは、パスのつながり状況やディスクに触れることができた回数などを意識しながら取り組むことができるものとする。子供たちのパスのつなぎ方を明確にしていくことで、つながりやすいパスの出し方に焦点を当てる。また、チームに合った攻撃パターンをいくつもつくるように指導していき、自分のチームのよさを活かして攻撃する手立てとする。

## 5. 教材について

本単元では、『アルティメット』というニュースポーツを取り入れて授業を行っていく。『アルティメット』とは、敵、味方に分かれて1枚のディスクを使用し、パスをつなぎながらエンドゾーンを目指すゴール型ゲームである。相手の陣地のエンドゾーン内でパスをキャッチすると得点となる。この競技は身体接触が許されず、「スピリット・オブ・ザ・ゲーム」という反則をしないことを前提としたセルフジャッジ制を導入していることが最大の特徴である。走る・投げる・跳ぶといった様々な技能が要求される競技であるため、1年間培い、深めてきた知識・技能などを存分に生かすことのできる教材となっている。

新型コロナウイルス感染症に配慮し、手袋をつけて行う。ふわりと落ちてくるディスクを使用して行うこの競技は、子供に親しみやすく、またディスクを持って走ることができない点でボール（ディスク）を持っていないときの動きを効果的に高めることができると考えている。

本単元の活動では、ゲーム中にそれぞれの子供が自分のチームを分析する役割を担う時間をつくり、「みる」観点やゲームの特性、自分のチームの特徴などを「知る」観点、考えをチームの全員に伝える「支える」観点を大切にする。パスを続けるためにはチームの連携（助け合い・支え合い）が必要不可欠である。自分がミスをしたということが自分にも仲間にもわかりやすいため、運動が苦手な子供へパスや動きの声かけなどサポートが重要となる。勝ち負けにこだわらぬあまり、厳しい言葉を仲間投げかけることが様々な場面で見られる本学級において、本教材はよりよい学級経営の一助となることが期待できる。

## 6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール（ディスク）を操作できる位置に体を移動させ、パスをつないで得点することができる。	チームに合った準備運動や練習を選択しながら、特徴を生かした作戦を考えている。	ルールやマナーを守りながら運動に進んで取り組み、友達との協力を通して練習やゲームをしようとしている。

## 7. 単元計画

次	時	内容
1	1	ルールを知ろう。（オリエンテーション）
2	2	ディスクに親しもう。
	3	パスをつなぐポイントを見つけよう。
	4	攻め方のポイントを見つけよう。（★本時）
	5	新しい作戦を立てて得点を多く取る方法を考えよう。
3	6	第2回 5Eオリンピック大会。

## 8. 本時の目標

ボール（ディスク）を持たないときの動きを意識し、パスをつなぎながら得点を取ることができる。 【知識・技能】

## 9. 本時の展開

